

## 重症心身障がい児(者)の生活実態把握のためのアンケート調査概要

実施者	釧路根室地区重症心身障がい児(者)を守る会
実施時期	平成 30 年秋から配布開始予定 配布、回収に 3～6 カ月程度の期間を想定
協力者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・釧路市障がい者基幹相談支援センター</li> <li>・市立釧路総合病院小児科病棟</li> <li>・北海道釧路保健所</li> </ul>
目的	・釧路根室管内に住み、医療機関を受診している重症心身障がい児(者)の医療状況や生活の実態を確認し社会資源、今後の生活に関するニーズを把握する。
対象	・医療機関を定期的に受診している医療的ケア児者や重症心身障がい児(者)とその家族 (釧路根室管内で小児科等医療機関を受診している方 約100名を想定)
内容	・性別年齢、疾患名や医療状況(医療的ケアの内容、実施者)通院状況、日常生活の状況、介護者の負担、社会資源利用状況、今後の療養生活への不安等をアンケート質問票を用い回答を得る。
方法	<p>アンケート用紙と依頼文、返信用封筒をセットにしたアンケート一式をナンバリングして準備する</p> <p>①守る会会員やはばたき利用者に関しては、直接守る会関係者から配布する</p> <p>②対象者に広く配布できるように市立釧路総合病院、釧路赤十字病院、中標津町立病院、別海町立病院等の協力を得て、外来(慢性外来が主)を受診した際に配布してもらう</p> <p>※①と②の重複配布を避けるために、封筒に重複配布の可能性があることや了承を得るための注意書きを示し、直接配布の際にあらかじめ伝えるなどし、理解を促す。</p> <p>配布後は自己記入式とし同封の返信用封筒にて後日重心を守る会に返送。守る会がアンケート質問票の集計を行う。</p>
依頼方法	・アンケート質問票の配布について、釧路根地区重症心身障がい児(者)を守る会から小児科医会を通し、釧路赤十字病院、市立釧路総合病院、小児科クリニックへ依頼する。
その他	・調査結果は釧路管内市町村障がい福祉担当等へ提示し地域の実態・課題を共有する予定。